

2021年1月8日

栃木県知事
福田 富一 様

〒320-0017 宇都宮市戸祭台 29-17
栃木県保険医協会
会長 長尾月夫
TEL028-622-0083 FAX028-627-0648

医療従事者の安全確保及び医療機関支援に係る緊急要望書

新型コロナウイルス感染症への対応に敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行は、感染者の数が急激に増加して重症者、死者の数は日々過去最多を更新しています。栃木県においても感染拡大に歯止めがかからず直近1週間（昨年12月29日～1月4日）の人口10万人当たりの感染者数は24.04人で全国4番目となり、まさに緊急事態となりました。医療提供体制は危機的状況にあり、医療崩壊を防ぐためにも医療機関の負担を減らす様々な施策の実施が急務です。

当会が昨年末に実施した「新型コロナとインフルエンザ同時流行に備えた体制について」アンケート調査（98医療機関・回答率24%）によると、「診療・検査医療機関」の指定を受けた55医療機関のうち指定に関して「不安がある」と回答したのは46医療機関で8割超となりました。その理由については「スタッフ・家族等の二次感染」「院内感染」「休業した場合の補償」が多く、大きな不安がある中でも地域医療を担う責任が示された結果となりました。

一方、指定を受けない医療機関は、「来院患者の安全を因るべき」「発熱患者専門の時間枠をとれない」「マンパワー不足」などをあげ、一般診療所では限界があることがわかりました。

感染の拡大を抑えるためには、高齢者や基礎疾患のある人に接する医療機関や介護・福祉施設における定期的な検査を積極的に行うことが必要です。また、「診療・検査医療機関」に対し、県は条件により上限50万円を支給することになりましたが、院内感染への不安を抱え感染防護に最大限配慮する医療機関にとっては不十分です。

つきましては、下記について緊急に要望致しますので、速やかに実現いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 病院・診療所問わず、医療機関に勤務するすべての医療従事者への新型コロナウイルス感染症の検査を必要な時に公費で実施できるよう国に要望してください。
2. 「診療・検査医療機関」の指定を受けた医療機関に対して財政支援を行うよう国に要望してください。
3. 栃木県独自にコロナの診療にかかわる医療従事者安全確保のための施策を実施してください

以上